

ArtemiS SUITE
Signal Processing

Code 51305

ASP 305 チャンネル計算

ArtemiS SUITEのチャンネル計算は、計算プロジェクト（APR 000に含まれる）を拡張し、スクリプトを介して各チャンネルを個別処理できるようにします。さらに、チャンネル計算は自動化プロジェクトや標準化テストプロジェクトに組み込むことができます。

概要

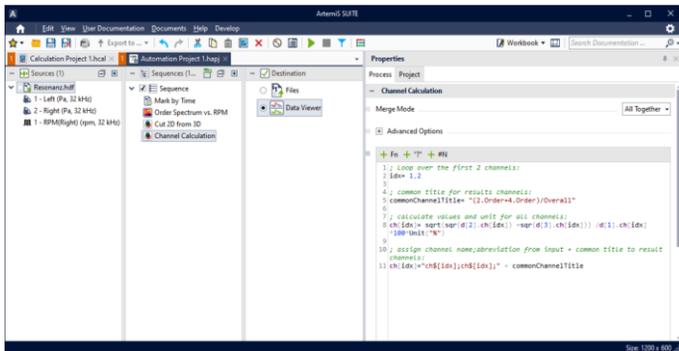
ASP 305

チャンネル計算

Code 51305

チャンネル計算により、カスタマイズされた演算処理で、任意のチャンネルまたは複数のチャンネルを同時に後処理できます。

スクリプトの利用により、各チャンネルの処理オプションを事前定義できます。例として、参照チャンネルとの比較等が可能です。さらに、クロスチャンネル等の操作も定義できます。これにより、自動補完サポートにより、1文字またはオプションでさらに文字を入力すると、フィルター処理により利用可能なすべての関数のリストが表示されます。スクリプトが入力されるとすぐに構文規則への適合性がチェックされます。



フィーチャー

チャンネル計算は、計算プロジェクト（APR 000に含まれる）を拡張でき、自動化プロジェクト（APR 050が必要）や標準化テストプロジェクト（APR 220が必要）にも組み込むことができます。

スクリプトを活用した複数チャンネルの同時処理

後処理操作は演算操作をカスタマイズ（例：sin、log、sign）でき、チャンネルごとの処理を個別に指定したり、チャンネルの一括操作も定義可能です。

自動化プロジェクトと標準化テストプロジェクトを活用したチャンネル計算の自動後処理

64ビット実装

チャンネル測定単位の自動変更

予め定義されたコードセグメントの利用

カラー構文規則ハイライト

提案リスト

アプリケーション

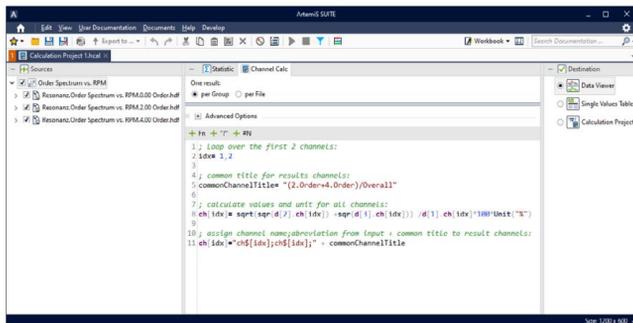
- > 個別チャンネルまたはすべてのチャンネルのレベル調整
- > 参照チャンネルとの比較
- > 様々な関数（例：sin、log）を利用したチャンネル作成
- > ...

計算プロジェクト

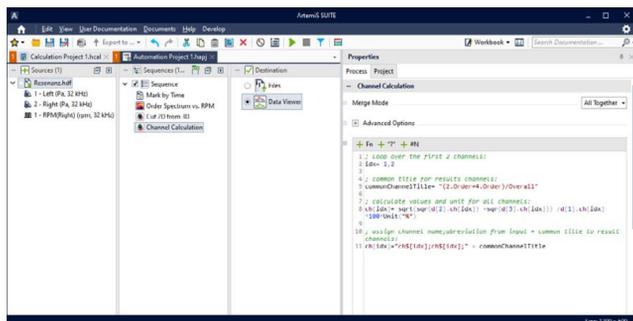
チャンネル計算は、Pool プロジェクトに似た計算プロジェクトで実行でき、例えばチャンネルを相互にオフセットすることができます。これにより、類似の構造が適用されますが、3つのPoolが並んで配置されます。また、チャンネル計算を通じて、計算プロジェクトは、例として解析結果の自動後処理の為に、チャンネルに関連づけた操作も実行できます。ユーザーは各チャンネルに対して計算ルールを指定したり、クロスチャンネル操作を定義して、様々な関数を活用して新規のチャンネルを作成できます。

自動化プロジェクトと標準化テストプロジェクトにおけるチャンネル計算

チャンネル計算は、自動化プロジェクトや標準化テストプロジェクトに挿入することができ、例として、レベル調整、参照チャンネルとの比較、またはチャンネル一括操作を自動で進めることができます。チャンネル計算は、自動化プロジェクトや標準化テストプロジェクトのシーケンスに通常通り埋め込むことができます。ユーザーはプロパティツールウィンドウでオプションを素早くカスタマイズできます。



計算プロジェクトで用いられるチャンネル計算



自動化プロジェクトで用いられるチャンネル計算

要件： APR Framework (Code 50000)
and/or: HEAD システム統合 & 拡張
(ASX) プログラムインターフェイス



お問い合わせ

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134
横浜ビジネスパークウエストタワー 8F

電話： 045-340-2236
Eメール： headjapan@head-acoustics.com
ウェブサイト： www.head-acoustics.com